



件名

女性のための防犯教室(その3)

県警発表の本年8月末現在の性犯関係の刑法犯認知件数(暫定値)は、強制性交等が12件(前年同期比-4件、-25%)ですが、6月末に比べ倍増しています。一方、猥褻犯(強制・公然猥褻)は66件(前年同期比+18件、+37.5%)で増加しています。また、8月末現在における女性対象の不審者情報は107件で6月末に比べ35件増加しています。その中で前橋市内の不審者情報は17件(付きまとい4件、公然猥褻6件、猥褻類似行為2件、声掛け1件、盗撮1件、その他3件)で、6月末から5件(公然猥褻3件、盗撮1件、その他1件)増加しています。自分だけは大丈夫との例外意識を持つことなく、各自が防犯意識の向上に努めてください。

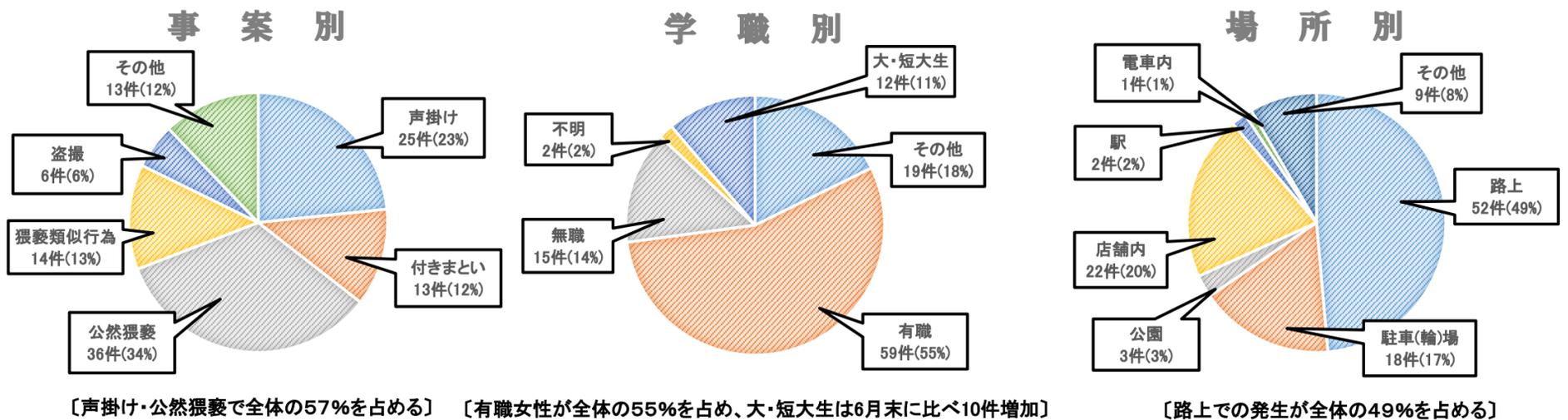
※ 県内の不審者情報107件の内訳は下表を参照

女性対象107件 (19歳以上の女性)

※ 猥褻類似行為～身体に触るなど
※ その他～全身の撮影、凝視

2020年8月末現在の不審者情報認知状況

不審者から声を掛けられた、不審な車に後をつけられた等の情報は**最寄りの警察署に連絡する又は110番**しましょう。



被害に遭わないために ～居宅編～

自宅に入る時は



- 周囲を確認してから、鍵を開ける。
- 家に入ったら、すぐに鍵とチェーンロックをかける。
- 一人暮らしの人や、同居者が不在の時も、大きな声で「ただいま」と言いながら家に入るなど、家族がいるようなアピールをする。

家の生活では



- ゴミ出しなどの、わずかな時間でも必ず鍵をかける。
- 就寝時は、高層階でも必ず窓の鍵をかける。
- チャイムが鳴っても、直ぐにドアを開けず、ドアスコープで相手を確認する。
- 見知らぬ人に対応する場合は、ドアチェーンをかけたままドア越しに行く。

column
女性の一人暮らしを察知されないためには

- 表札に名字だけを書く
- 男性の服と一緒に干す
- 男性の靴を玄関に置く

などの対策が有効です。

ワンポイントアドバイス

鍵かけは、あなたを守る第一歩！

痴漢などの被害に遭ったら

大声を出して、人家に逃げ込んだり、人通りの多い方向に逃げる



- 防犯ブザーを鳴らす。
- 自分の身を守るため荷物を捨てて逃げる。
- 安全な場所から110番する。
- もしも腕等をつかまれた場合は、相手の急所や弱点を狙い、振り切って逃げる。

大声を出すためには
悲鳴をあげるのではなく、力強く「叫ぶ」。この声がいほど相手は驚きます。いざという時のために、自分の出しやすい言葉を考えておきましょう。
「火事だ!」「泥棒!」「助けて!」など。

①

ワンポイント護身術

②



相手が近づいてきたら...

- ① 間合い(1.5m以上)を取り、逃げる機会を窺う
- ② 相手が掴み掛ってきたら、バッグで顔面を叩く



相手が怯んだ隙に、大声を出しながら走って逃げる

